

一念発起

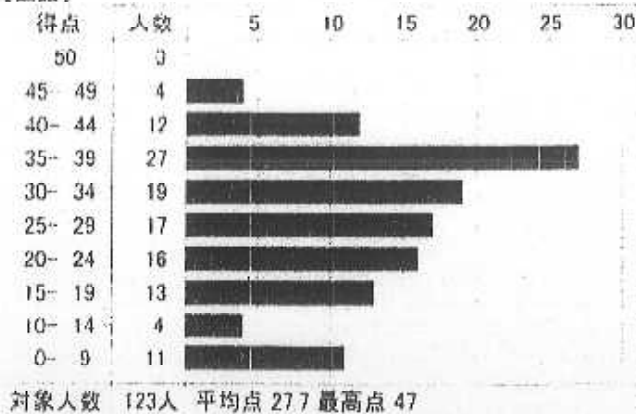


平成30年3月5日号
豊田中学校 第2学年だより
発行責任者 石川収一

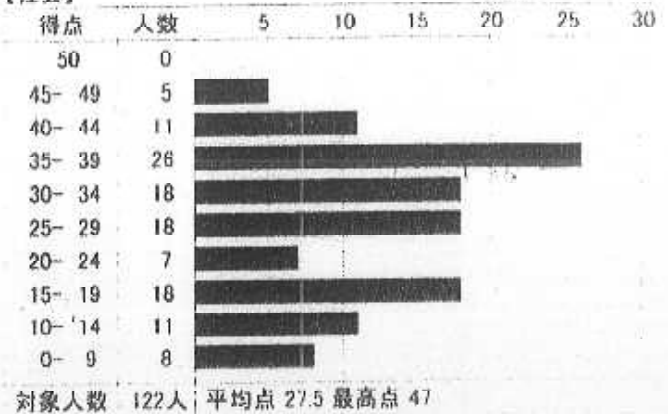
学年末テストの結果

学年末テストの結果が出ましたので、お知らせします。今回は2年生最後のテストということで、今まで以上に頑張ろうとする雰囲気を感じられました。授業中にしっかり聞いて、ポイントを押さえたテスト勉強をした人は点が伸びていました。3年生ではもっと普段の授業を大切に、重要な内容を聞き逃さないようにしてほしいと思います。

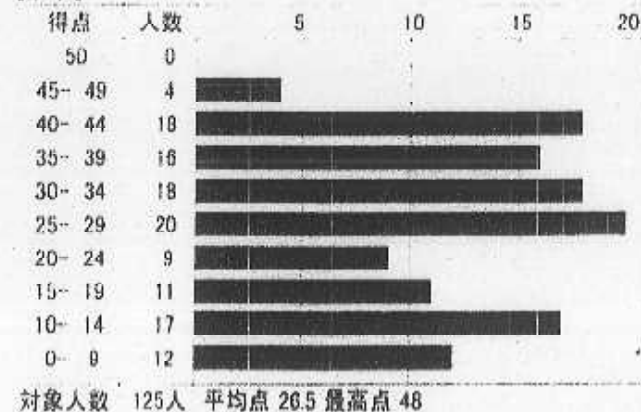
【国語】



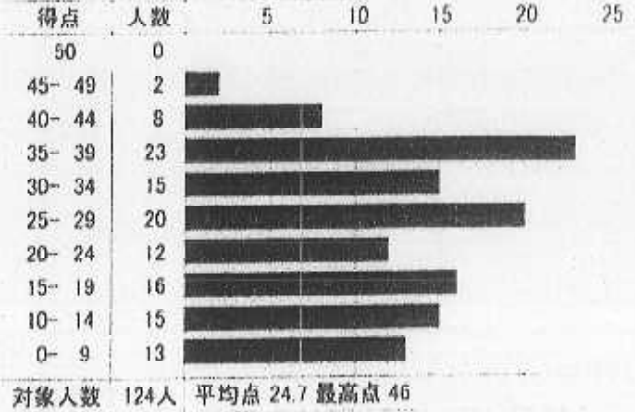
【社会】



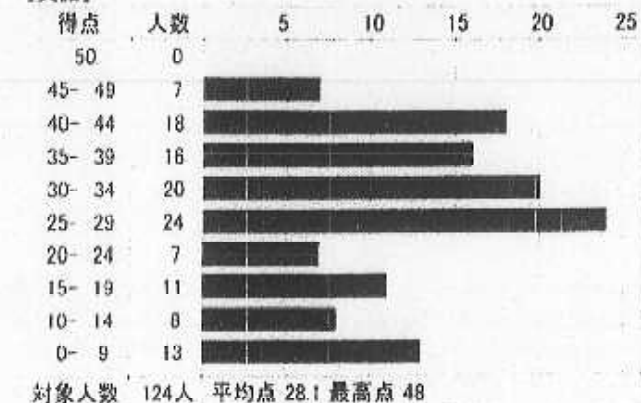
【数学】



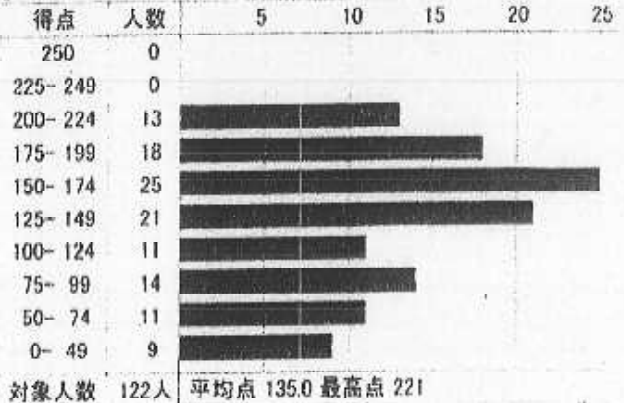
【理科】



【英語】



【5教科】



学年末テストを終えて（教科担任より）

国語

採点をする中で感じたことは、授業で学んだ知識を活用するのが苦手な人が多いということです。文法の授業で「活用表」を書いたり、練習問題を解いたりするときには対応できて、長文読解に文法の問題を織り交ぜると、解けなくなってしまう人が増えます。今回は、「君は『最後の晩餐』を知っているか」の文章の中で、動詞の「活用の種類」「活用形」を識別したり、形容詞・形容動詞を探したりする問題を出しましたが、正答率が大変低かったです。出題形式が違って対応できる力を身に付けていけるといいですね。

また、テスト反省のときにも話しましたが、グラフ資料の読み取りとそれを用いた意見作文の満点解答が非常に少なかったのも残念でした。大切なのは、①条件を満たすこと、②資料（グラフ）の読み取りと考察です。グラフの種類によって、「読み取らせたいもの」は異なります。グラフの種類ごとの特性と、それぞれのデータ（数値など）の比較や関連づけによって何が分かるのかということに留意して、資料を読み取りたいものです。また、読み取ったことから自分の意見を書くという活動には、ある程度「慣れ」が必要です。社会科の宿題になっている「新聞スクラップ」に取り組む際、記事に対する150字程度の意見文を書くということを継続的に行っていくと、このような条件作文に対応する力が向上すると思います。

社会

<地理>地理は関東地方、東北地方からの出題でした。関東地方では、⑥の近郊農業の利点を答える問題で、キーワードとした「大消費地」の意味が理解できていないと感じる解答が多く見られました。授業の中で出てくる単語ひとつひとつの意味を理解し、友達に説明できることを目標にしましょう。

<歴史>歴史は、幕末から明治、その頃の世界の動きといった幅広い範囲からの出題でした。そのためか地理に比べ正答率が低いように感じました。江戸時代に結ばれた条約の不利な点を答える問題や初めての衆議院選挙の選挙権を答える問題では、領事裁判権といった単語や年齢、納税金額など、ポイントとなるところが抜けていて不正解となるものが多く見られました。ポイントとなるところをしっかりと押さえて正確に解答することが必要です。

<全体的に>地理の問題は全体的によく出来ていました。歴史のほうは授業で触れてから少し間が開いていましたが、復習をしっかりと、得た知識を自分のものとしていたかで点数に差が開いたように感じます。日頃から、授業の内容をただ覚えようとするのではなく、自分が納得できるまで復習することが必要です。

数学

今回のメインは図形です。11の角度や長さを求める問題はほぼ正答率が90%を超えており、図形の性質については、よく理解しています。ただ、合同な三角形の理解を問う⑦や⑧の問題の正答率は60%前後であり、合同条件に関する理解はまだ十分とは言えません。また、⑩の穴埋め式の証明問題は正答率56%なのですが、⑬①の証明問題は35%と、自分で証明を書けるところまでと考えると、まだまだといったところです。証明が苦手な人は、まずは模範的な証明方法を写すところから始めましょう。教科書の例題にある証明を、ノートに写してなぜそうになっているのかを考えるなど、書くことを含めた練習をしましょう。何度でも繰り返すことが大切です。⑬の図形の問題は、今年の全国学力学習状況調査のB問題をアレンジしたものです。2ヶ月後の全国学調はとにかく問題文が長く、文章を読まないといけません。読解力を求められるテストであり、パターンで解けるものではありません。授業で人の話を集中してよく聞き、大切な条件を自分でとらえて考えることが大切です。

また、今回出題した⑤の方程式の利用の問題は正答率15%、⑥②の1次関数と図形を組み合わせた問題の正答率は13%でした。いずれも県の学力診断調査でも正答率が低かった問題です。サイドブックを活用し、今まで学習した内容を振り返り、方程式や関数など、苦手な部分を中心に丁寧に復習しましょう。

理科

今回は前回に比べて、基礎的な内容を多く出題したので、少し平均点が伸びました。また、記述式の問題は小テストやワークの答え合わせの時に説明した内容をいくつか出題したので、授業中しっかり聞いてメモしておいた人は確実に点につながったのではないかと思います。問題3(1)や問題6(1)(2)のように、正確に覚えていないと答えが逆さまになって、2点損をした人も少なからずいました。問題7の(1)回路を線でつなぐ問題や(2)回路図をかく問題は、電流の単元の基礎的な問題なので、確実にできるように復習してほしいと思います。また、問題7(4)電流計や電圧計の目盛りを読む問題も重要なので、確実にできるようにしてほしいと思います。そして、理科ワークや小テストをしっかりと復習して、一度間違えた問題は次に再出題されたら、確実にできるようにしておくことが大切です。

「電流」の問題が苦手という人は多くいます。だからと言って避けてはいつまでたってもできるようにはなりません。春休みなどを利用して、時間をかけて何度も練習しておくことが重要です。電流の問題は、3年生の中間テストでも出題するので、しっかり復習しておきましょう。

英語

今回は、比較の文を中心に問題を出しました。～er, ～estをつけて比較級と最上級をあらわす語と、more, mostをつけて比較級と最上級を表す語をしっかりと整理して覚えておきましょう。また、「背が高い」と「山が高い」では使う単語が違います。「山が高い」と言う時はhighを使いましょう。ライティング用の例文から問題を出題しました。毎日の課題をきちんと書いている人は正答率が高くなっています。基本文や教科書の本文から例文を作っています。ライティングノートには単語ばかりでなく、文章を書いて覚えることが大事です。また、熟語も多く学習しました。これも文章の中でどのように使われるかを把握していないと実際に使うことができません。短い文をできるだけ多く声に出して読む、そして書くという作業を習慣にしてほしいと思います。

「将来の夢」をクラスで発表しました。その文章を書く問題も出題しました。自分の言いたいことを表すと言うことで、比較的よく書けていました。これから入試に向けて、作文の練習ももっと必要になります。ポイントの一つに、一つのことについて流れが分かるように書くことがあります。3～4文を書く中で、単発の文を4つ書くのではなく、前の文につながる内容でまとまりのある文を書くことが求められます。

長文読解の問題では、問われていることの答えの部分が本文のどこを指すかをまず把握します。そして、その部分を一つの単語も落とさないように丁寧に日本語に直して答えることです。自分の思いを解答にってしまう癖がある人は気をつけましょう。本文に書いていないことは答えになりません。

自習室は復習するのによい教材です。1、2年生の復習を春休みにして3年生へスムーズに進級できるようにしておきましょう。